

3

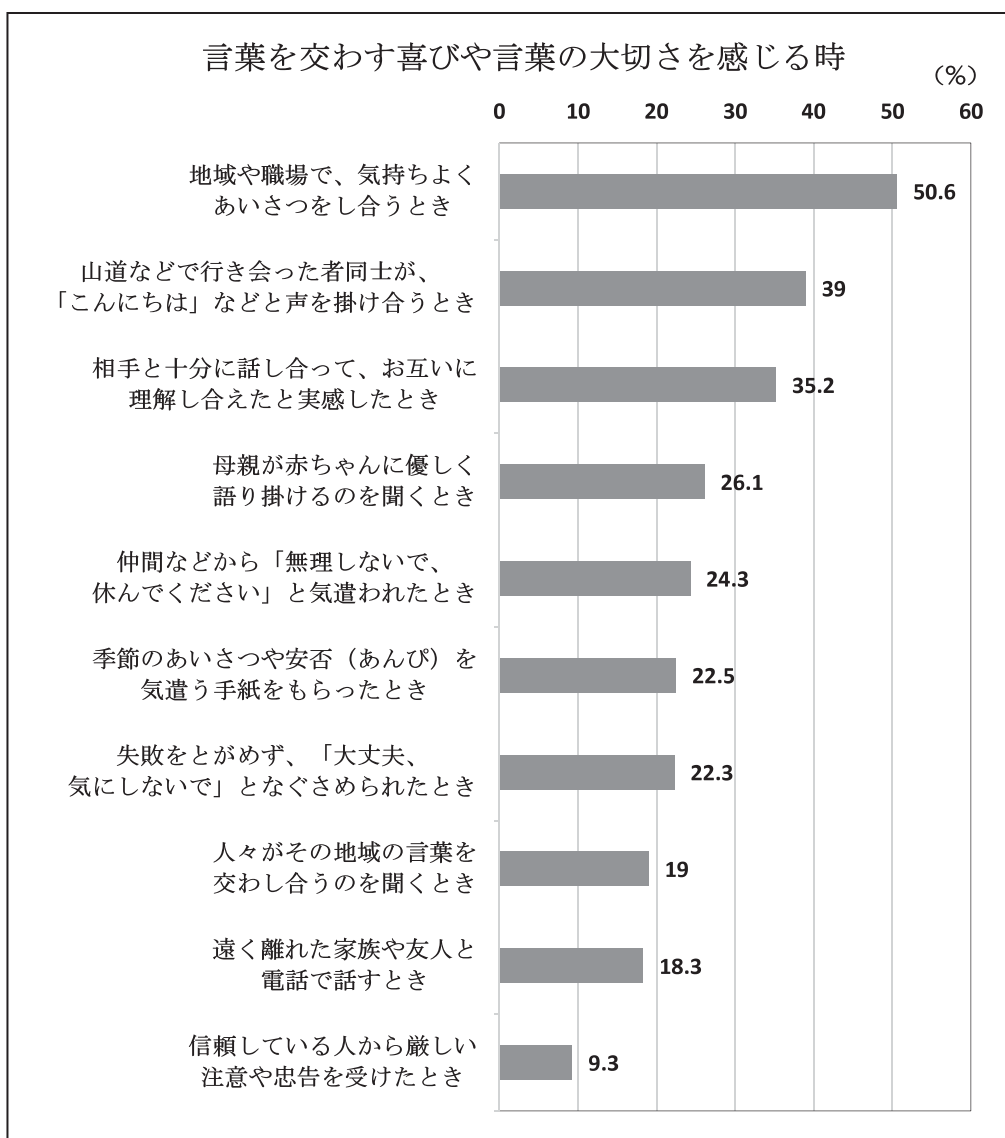
江戸町中学校の二年二組では、国語の授業で、意見文を書く学習を行っています。田中さんは、「言葉の大切さ」というテーマで意見文を書いています。次は、田中さんが書いた【意見文の下書き】と、読み返したあと新たに見つけた【国語に関する世論調査の結果】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

## 【意見文の下書き】

最近、私の身の回りでは、言葉を大切にしていなくて感じる人が多い。もちろん自分もそうだ。例えば、地域の人と外ですれちがってもあいさつをしないことがある。あいさつをしない理由は、はずかしいとか、めんどろだということが考えられる。また、日常会話やテレビ、SNS上のやりとりでは、「やばい」という言葉ですませることが多くなった。「やばい」は、いい意味でも悪い意味でも使えて、便利などころもある。しかし、みんなが言葉を大切にしなくなったら、私たちの生活は味気ないものになってしまうのではないだろうか。通学路で、毎朝顔を合わせる地域の方がいる。その方は、「おはよう。今日も元気?」「おはよう。部活動がんばってね。」と、私の表情や様子を見て、いつも言葉をかけてくださる。そんな時は、とても晴れやかな気持ちになり、一日をととても明るい気持ちで過ごすことができた。このように、言葉というものは、とても大切なものだと思う。

私は、自分の言葉の使い方をもう一度見直し、言葉を通して人を明るく気持ちにしていきたいと考えている。みなさんも、改めて考えてみてはどうだろうか、身近な言葉の大切さを。

※SNS……ソーシャル・ネットワーキング・サービスの略。人と人の社会的なつながりを推進・促進する様々な機能を提供する、会員制のオンラインサービス。



「平成27年度『国語に関する世論調査』の結果の概要<sup>がいよう</sup>」（文化庁）を基に作成

一 【意見文の下書き】の推敲（字句や表現をねり直すこと）に関わる次の各問いに答えなさい。

(1) 読みやすい文章にするために、第一段落を、内容のまとまりに沿ってさらに分けることにしました。新たに分ける段落の最初の五文字を書きなさい（句読点は一文字を含む）。

(2) < のところに言葉を入れて書き直すことにしました。書き加える言葉として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 いくら私だけがあいさつをするのははずかしく、「やばい」という言葉が便利でも、
- 2 このまま私だけがあいさつを続け、「やばい」という言葉を使わなくても、
- 3 いくらあいさつをするのははずかしく、「やばい」という言葉が便利でも、
- 4 たとえみんながあいさつをせず、「やばい」という言葉を使っているとしても、

二 田中さんは、【意見文の下書き】で「言葉の大切さ」の具体例に自分の体験を挙げるだけでは足りないと考え、【国語に関する世論調査の結果】にある情報を用いて < のところに文章を書き加えることにしました。あなたなら、どのような文章を書き加えますか。次の書き出しに続けて、【国語に関する世論調査の結果】を見ていない人にも分かるように書きなさい。

書き出し

さらに、平成二十七年に文化庁が行った「国語に関する世論調査」における、「言葉を交わす喜びや言葉の大切さを感じる時」の結果からも分かることがある。例えば、

三 【意見文の下書き】の最後の一文で用いられている表現技法として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 反復法
- 2 直喩法ちよくゆ
- 3 体言止め
- 4 倒置法とうち